市民への負担増は撤回を

コミュニティバスの願い切実

日本共産党　平野光一

▼戦争か平和かの岐路

問 敗戦と被爆から70年。安倍政権は侵略と植民地支配の歴史を否定し、核兵器も容認の姿勢だ。本市は平和都市宣言の実現にどう取り組むのか。

答 市民憲章、平和都市宣言にのっとり、恒久平和の実現へ戦争の悲惨さや平和のとうとさを伝えることが大切。過去の歴史認識については国が正しく発信すべきで、私の認識を述べることは適切ではない。

▼原発再稼働反対の表明を

問 放射能被害を受けた柏市の市長として、なぜ再稼働反対、原発ゼロを表明できないのか。

答 原発事故は二度と起こしてはならないし、再稼働も慎重な対応で望むべきだ。エネルギー源としての原発の賛否は国における慎重な検討が必要である。

▼市立病院移転方針は撤回を

問 地元の外来患者などを病院にとってのマイナス要素と市長は考えているのか。

答 外来の診療に偏っている現状を変えなければ、急性期の二次病院としての使命を果たすことと今後の安定的な経営の維持が難しいと考えた。

問 市立病院は、現在の場所で、真の地域包括ケアの拠点としての再生を目指すべきだ。

答 今後、市立病院、介護老人保健施設はみんぐ、地域包括支援センター等を包括した保健医療サービスの提供のあり方についても検討する必要がある。

▼国保、介護の負担軽減

問 基金の全額取り崩しと一般会計からの繰り入れの増額で国保料も介護保険料も引き下げを断行すべきだ。

答 国保料引き下げの状況にはない。一般会計からの繰り入れ増額は今後も慎重に対応する。介護保険料は基準月額で700円増だが、抑制に努めた。

▼介護報酬引き下げの影響

問 国の介護報酬大幅引き下げが事業所の経営困難、サービス後退を招くことは確実だ。市内事業者への影響は。

答 事業者の安定した運営やサービス低下への影響が懸念される。十分に注視していく。

問 特養の整備費補助金は、県が1ベッド当たり450万円に対して本市は250万円。県並みにふやすべきではないか。

答 支援金には国からの補助制度がない。市の負担となるが、施設を整備するだけでは待機児童は解消できないという貴重な御提案と受けとめる。

▼契約に係る平準化後の検証

問 末端の業者まできちんと支払われたか検証すべきでは。

答 適切に対応されたと考える。

▼土砂等埋め立て等規制条例

問 土砂等埋め立て等規制条例を改正して罰金を取ることはいいが、許可のとおり施工しているか定期的に検査を実施しては。

答 適正な埋め立て事業の施工を確保するため規制を強化する。

問 安倍政権で35人学級の年次計画がストップしたが、平成27年2月の国会で首相が「35人学級実現へ向け努力したい」と答弁。国・県へ強い働きかけを。

答 計画がストップした状況は大変残念に思う。教職員の増員は最大の教育条件整備・環境整備である。国・県への要望、働きかけを強めていく。

問 普通教室へのエアコン設置を求める市民の請願を議会は全会一致で採択している。なぜ無視するのか。

答 学習環境整備として重要だと認識している。しかるべきタイミングで判断したい。

▼コミュニティバス実現を

問 近隣自治体では大変好評だ。本市でも早期に実現すべきでは。

答 高齢化の進展で、市内交通網の再編が必要。地域特性に応じた公共交通の再編を関係者と協議し、進める。

答 現在のところ増額の予定はない。しかし、据え置いた場合にサービス内容や利用者負担、事業者の財務状況への影響も懸念される。今後検討したい。

▼35人学級とエアコン設置

みんなの幸せのために

お金を大切に使おう

政和会　坂巻重男

▼市立柏病院移転

問 市民の「なぜ」の答えは。

答 町会単位に町会長等数人の小集会を開き意見を聞いていく。

問 町会長等数人の意見を聞くだけなら辞任して、平成27年8月の市議会選挙と一緒に、出直し選挙で民意を問うてはどうか。

答 いろいろな形で話を聞きながらあらゆる可能性を検討する。

▼環境問題

問 指定廃棄物について、何年間仮保管するのか、地元住民は不安を抱えている。しつこいくらい国に働きかけてはどうか。

答 国会議員と連携しながら、短期間で保管に関しての歩みを確立していただくよう要請する。

問 公共施設の緑化、特に教室の暑さ対策にエアコンを入れないのなら校舎全体を緑化しては。

答 26年度、市内小中学校4校で実証実験を行い、室内で平均1.7度下がった。体感温度も下がり涼感が得られた。公共施設への設置を重点的に進める。

▼子育て支援

問 待機児童解消について施設をつくるのもよいが、それらにかかる費用を家庭に補助しては。

答 支援金には国からの補助制度がない。市の負担となるが、施設を整備するだけでは待機児童は解消できないという貴重な御提案と受けとめる。

▼契約に係る平準化後の検証

問 末端の業者まできちんと支払われたか検証すべきでは。

答 適切に対応されたと考える。

▼土砂等埋め立て等規制条例

問 土砂等埋め立て等規制条例を改正して罰金を取ることはいいが、許可のとおり施工しているか定期的に検査を実施しては。

答 適正な埋め立て事業の施工を確保するため規制を強化する。

縦割り構造改革と市民協働

無駄なく漏れなく質の高い事業を

未来会議柏　長瀬慈村

▼総合計画について

問 総合計画策定に、市民意見をどのように反映させているか。

答 市民ワークショップでの意見や意識調査結果を活用する。

▼行財政改革について

問 これまでの経費・人員削減や事業の外部委託等の改革だけでなく、今後は関係する部署や団体・市民の連携・協働が重要だと思うが、考えはいかに。

答 縦割り構造改革は大課題で分野横断的連携を強化する。

▼新年度予算について

問 コンビニAED事業とは。

答 160店舗に設置し市民に周知、救命講習会等啓発を図る。

▼子ども子育て支援について

問 出産前後の特に精神的ケアが急務だが現状は。胎児期～乳幼児期～学童期～思春期と、子どもの健康管理の連続性が欠けているが今後は。現在の孤立的子育て環境でなく、地域で支える子育てが必要と思うが考えは。

答 母子の健康管理や育児不安への相談等を随時行っている。子どもの健康状態は各部署が把握も情報共有・連携は少なく、改善を図る。子育てにも地域の協力が必要で活動を支援する。

▼保健福祉行政について

問 健康介護予防の将来像は。

答 多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

▼教育行政について

問 いじめ等への生徒指導は、試験的アンケートや対策チーム増員等の局所的対応でなく、全学校の平準化を図るべきでは。現在の社会諸問題の根本は、生命への畏敬や道徳・倫理・礼節の欠如にあると思うが考えは。

答 学校間差が出ないよう配慮する。命の大切さも指導する。

教育は未来への堅実な投資

子育て支援と教育・文化の充実を

柏愛倶楽部　山下洋輔

▼子育て支援

問 妊娠から、出産、子育て、就労とワンストップでのサービスができる相談機関の設置を。

答 切れ目ない支援を検討する。

問 児童虐待防止の取り組みは。

答 情報共有システムの導入や関係機関との連携強化を行った。空き教室や地域のニーズを判断しながら、協議したい。

▼介護をする家族への支援

問 家族介護者の負担軽減や孤立を防ぐ交流の場を。

答 ケアラーズカフェなど、介護者のための支援もしていく。

問 10代の家族介護者の実態を、行政は把握できていない。若い介護者への支援を。

答 相談機能を強化していく。

▼手賀地域の農業・観光振興

問 フットパス（※）の整備を。

答 市民団体の提言をもとに、農家や商店と協力し、展開する。

▼沼南公民館の近隣センター化

問 生涯学習と市民の活動をより一層充実させるべきだ。

答 近隣センターとなっても、生涯学習課が事業を継承し、今以上の利用が進むようにする。

▼図書館の今後のあり方

問 第五次総合計画での図書館の位置づけと公共施設等総合管理計画での図書館分館の方針は。

答 学習・子育て支援の充実と市民の課題解決支援の情報拠点と位置づける。分館のあり方を見直し、特色ある分館にする。

▼教員の負担軽減

問 学校事務職員の養成を。

答 研修や小中学校の連携で、学校事務機能の強化に努める。

▼学校施設の複合化

問 高齢者は小学生から元気をもらい、小学生は高齢者から経験を学ぶ。空き教室を活用した老人福祉施設を設置しては。

▶議会を傍聴しませんか◀

柏市議会の本会議及び委員会は原則公開をしています。本会議の傍聴を希望される方は、本庁舎7階の傍聴席入口にある受付票に、住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。また、委員会の傍聴は、本庁舎6階の議会事務局で受け付けています。

※フットパス＝森林や田園地帯、古いまち並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小道。